

新潟産大付 甲子園へ

柏崎勢 夏は初
帝京長岡、反撃及ばず

初の甲子園出場を決めて喜ぶ新潟産大付の選手たち。26日、午後0時30分ごろ、新潟市中央区のハードオフ・エコスタジアム

決勝(ハードオフ・エコスタジアム)

新潟産大付	0	2	0	0	2	0	0	0	0	4
帝京長岡	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2

第106回全国高校野球選手権新潟大会は26日、新潟市中央区のハードオフ・エコスタジアムで決勝を行い、新潟産大付が帝京長岡に4-2で勝利し、初の甲子園出場を決めた。柏崎勢の夏の甲子園出場は初めて。両校初優勝を懸けた戦いは、序盤に主導権を握った新潟産大付が、2人の継投で逃げ切った。

新潟産大付は二回、中村心虹選手の適時三塁打で先制すると、千野虹輝選手も適時打で続き2点目を奪った。五回にも2点を追加し、流れをつかんだ。

帝京長岡は、新潟産大付の2投手に、計3安打に抑えられた。五回に1点を返し、七回も2死満塁の好機をつくったが、押し出しの1点にとどまった。

新潟産大付の平野翔太主将は「地域の皆さん、学校の皆さん、たくさんの方に応援されて試合ができてとても力になった。勝てて恩返しできてうれしい」と話した。

全国高校野球選手権は8月7日、兵庫県の甲子園球場で開幕する。組み合わせ抽選は4日に行う。